

4端子標準インダクタHLSシリーズ（自己誘導器及び相互誘導器）



本器は、LCRメータ校正用4端子構造の固定形標準インダクタです。従来の標準インダクタよりも、小型、軽量化してありますので常用標準として最適です。BNC構造となっている為、LCRメータへ直接接続が出来ます。相互誘導器標準器も製作可能ですのでご相談ください。

特長

- 4端子対構造ですので、4端子LCRメータ等の校正に最適。
- 小型・軽量のため、現場での校正に非常に便利。
- 空芯コイルを使用しておりますので、電圧・電流特性が極めて良好。
- 金属ケースで密閉されているため、外部磁界の影響を受けにくい。

仕様

項目/型式	HLS100A	HLS101A	HLS102A	HLS103A	HLS104A	HLS105A	HLS106A
公称値	10 μ H	100 μ H	1 mH	10 mH	100 mH	1 H	10 H
調整精度*1	± 1 %	± 0.25 %	± 0.1 %	± 0.1 %	± 0.1 %	± 0.1 %	± 0.1 %
温度係数*1	± 30 ppm/ $^{\circ}$ C						± 100 ppm/ $^{\circ}$ C
経年変化*2	± 100 ppm/年						± 500 ppm/年
共振周波数 (参考値)	30 MHz	3.5 MHz	1 MHz	300 kHz	130 kHz	45 kHz	20 kHz
直流抵抗 (参考値)	0.3 Ω	0.9 Ω	2.8 Ω	36.5 Ω	352 Ω	2910 Ω	10.2 k Ω
最大定格	2 A	2 A	1 A	200 mA	50 mA	20 mA	5 mA
寸法(W×D×H)mm	142×88×85			142×88×130			200×170×125

*1 1 kHzにおける値。

*2 初期変動として ± 500 ppm程度変化する可能性があります。

- 別売りで、キャリングケース及びOPEN/SHORT治具も販売しております。
- 仕様は改良により予告なく変更することがあります。
- 当社ではカタログ製品以外でも個別に最適なシステムデザインを行っておりますのでご相談ください。